資料４

９期計画の評価と次期計画の方向性

第１回　介護保険運営協議会（令和８年６月２９日実施）資料より抜粋

・資料４　アンケート結果

・資料５　第９期計画の評価

・資料６　和泉市の現状と将来推計

資料４

アンケート調査結果（第９期施策体系に基づく分析）

１．調査の概要（調査目的、対象等）

（１）調査の目的

本市では、市民が高齢期を自分らしく過ごしていただけるように、「高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、様々な高齢者施策を進めています。

本調査は、計画の見直しに向けて、高齢者の生活実態やニーズ、介護保険制度に対する意向を把握することを目的に実施しました。

（２）調査の対象と調査方法

調査の種類	対象者
①介護予防･日常生活圏域ニーズ調査	令和８年２月１日現在、市内在住の 65 歳以上の人（要介護認定者を除く）から 2,000 人を無作為に抽出 〇要介護認定を受けていない人 〇介護予防・日常生活支援総合事業対象者 〇要支援認定者 郵送による配布・回収
②在宅介護実態調査	令和８年２月１日現在、在宅で生活をしている 65 歳以上の要介護認定者のうち、1,000 人を無作為抽出 郵送による配布・回収
③サービス提供事業所調査	和泉市内で介護保険サービスを提供している法人（226 法人） ハガキにて調査協力を依頼、回答はインターネット
④ケアマネジャー調査	和泉市内の居宅介護支援事業所で働くケアマネジャー（67 事業所） メールにて調査協力を依頼、回答はインターネット
⑤住宅型有料老人ホーム､サービス付き高齢者向け住宅等調査	和泉市内で特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅（52 ヶ所） メールにて調査協力を依頼、回答はインターネット

（３）調査期間

令和８年３月６日から令和８年３月 31 日の期間で実施。

（４）回収状況

調査の種類	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000 件	1,543 件	77.2%	1,543 件	77.2%
②在宅介護実態調査	1,000 件	562 件	56.2%	555 件	55.5%
③サービス提供事業所調査	226 法人	103 法人	45.6%	103 件	45.6%
④ケアマネジャー調査	67 事業所	88 件	49.4%	88 件	49.4%
⑤住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等調査	52 施設	20 施設	38.5%	20 件	38.5%

２．報告書の留意点・見方

○表・グラフに付加されている「ｎ」は質問に対する回答者数を表しています。

○結果数値(%)は、少数点第２位を四捨五入しており、内訳の合計が 100%にならないことがあります。

○複数回答の場合、回答者数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が 100%を超えます。

○表・グラフ中の「不明・無回答」の表記については、無記入、回答の読み取りが著しく困難な場合、１つまでの回答を求めている設問に対し２つ以上回答していた場合は「不明・無回答」として処理しています。

（３）医療と介護の連携強化

○医療や介護について相談できる機関を尋ねたところ、未認定者は「病院・診療所」、要支援者・要介護者は「介護関係の事業所（ケアマネ施設相談員等）」が最も多くなっています。「ない」は未認定者で 27.6%、要支援者で 7.7%、要介護者で 3.2%となっており、前回調査との大きな差はみられません。

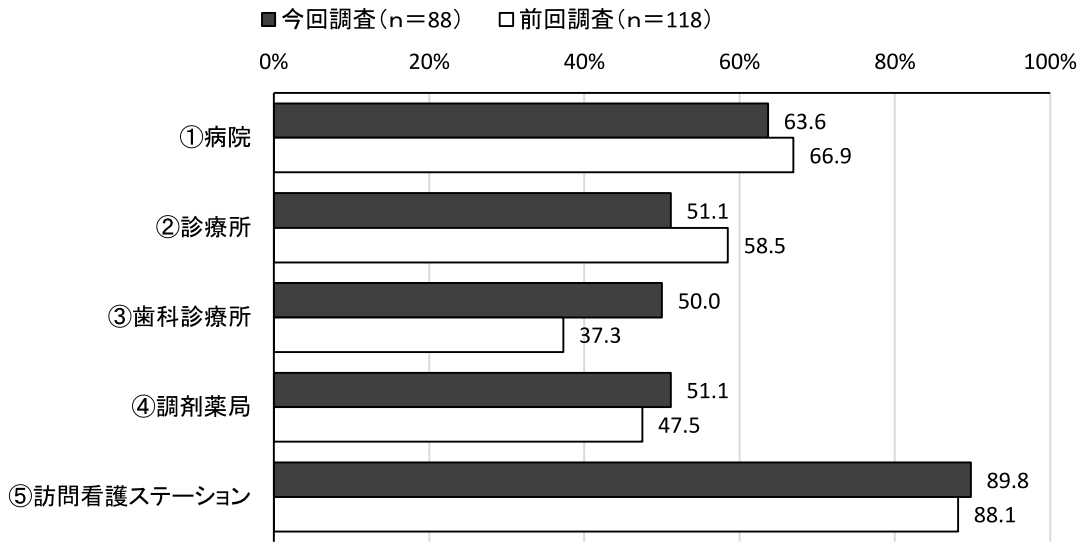
医療や介護について相談できる機関

（複数回答） 単位：%

No.	選択肢	未認定者		要支援者		要介護者	
		前回	今回	前回	今回	前回	今回
1	病院・診療所	48.8	55.0	50.3	50.3	42.5	42.5
2	歯科医院	6.6	9.7	7.4	9.7	4.7	4.1
3	薬局	2.9	4.0	4.9	5.2	3.9	2.2
4	介護関係の事業所（ケアマネ施設相談員等）	12.6	13.0	67.0	62.6	78.8	74.1
5	地域包括支援センター	11.6	12.3	18.3	17.4	16.5	17.1
6	市役所	12.9	16.4	7.2	11.6	13.3	14.4
7	訪問看護ステーション	1.8	1.9	7.3	9.0	13.9	15.9
8	ない	29.9	27.6	4.9	7.7	4.4	3.2
	不明・無回答	5.1	3.8	3.8	1.9	5.7	9.9
	回答者数（n）	767	1,388	739	155	595	555

○ケアマネジャーが連携できている医療機関は、「訪問看護ステーション」が 89.8%、次いで「①病院」が 63.6%となっています。前回調査と比較すると、「②診療所」は前回調査より 7.4 ポイント減少しており、「③歯科診療所」は 12.7 ポイント増加しています。

ケアマネジャーが連携できている医療機関



○「在宅医療介護相談支援センター」の認知状況は、「相談窓口は知っているが、支援内容は知らない」が 29.5%で最も多く、次いで「実施している内容（支援)、相談窓口ともに知っている」となっています。

「在宅医療介護相談支援センター」の認知状況（ケアマネジャー調査）

No.	選択肢	n	%
1	実施している内容(支援)、相談窓口ともに知っている	22	25.0
2	相談窓口は知っているが、支援内容は知らない	26	29.5
3	窓口があることは知っているが、どこが相談窓口か知らない	20	22.7
4	まったく知らない	20	22.7
	不明・無回答	0	0.0
	全体	88	100.0

○人生会議の実施状況は、介護状態にかかわらず「話し合ったことはないが、これから話し合いたい」が最も多く、介護状態が重くなるにつれて回答が少なくなっています。２番目は「ある程度実施しているが、見直しはしていない」で、介護状態が重くなるにつれて回答が多くなっています。

人生会議の実施状況

単位：%

No.	選択肢	未認定者	要支援者	要介護者
1	詳しく実施しているし、見直している	4.0	2.6	8.1
2	ある程度実施しているが、見直しはしていない	14.5	20.6	23.2
3	話し合ったことはないが、これから話し合いたい	65.1	46.5	43.1
4	話し合ったことはなく、これからも話し合うつもりはない	8.6	14.2	15.3
	不明・無回答	7.8	16.1	10.3
	回答者数(n)	1,388	155	555

○人生会議を書き留めるツールの使用状況は、和泉市が発行しているツール・和泉市以外のツールともに「知らない」が最も多く、「使用している」は数パーセントにとどまっています。

人生会議を書き留めるツールの使用状況

単位：%

No.	選択肢	和泉市が発行しているツール			和泉市以外のツール		
		未認定者	要支援者	要介護者	未認定者	要支援者	要介護者
1	使用している	0.3	0.0	1.3	1.4	0.6	0.9
2	持っているが使用していない	2.4	3.2	2.5	2.4	2.6	2.0
3	知らない	88.5	80.0	82.9	81.4	71.6	77.3
	不明・無回答	8.9	16.8	13.3	14.8	25.2	19.8
	回答者数(n)	1,388	155	555	1,388	155	555

資料５

第９期計画の評価

基本目標１　健康寿命の延伸、重度化防止に向けた取り組みの推進 2
（１）生涯を通した健康づくり活動の推進 2
（２）介護予防・重度化防止の推進 5
基本目標２　高齢者の尊厳に配慮したケア対策の推進 7
（１）高齢者虐待の防止 8
（２）認知症施策の推進 10
（３）成年後見制度・消費者被害防止の推進 13
基本目標３　地域におけるネットワークの構築 15
（１）地域包括支援センター機能の充実、体制の強化 15
（２）総合的な地域ケア体制の充実 15
（３）医療と介護の連携強化 19
（４）高齢者を支える体制の整備、セーフティネットの推進 22
基本目標４　生きがい・安心のある暮らしの実現 24
（１）高齢者の積極的な社会参加の推進 24
（２）地域での生活の自立支援 27
（３）介護家族への支援 29
基本目標５　介護サービスの質の向上と介護保険事業の適正な運営 31
（１）サービスの質の向上と介護現場に対する支援 31
（２）利用者本位のサービス提供の推進 34
（３）介護保険事業の適正な運営 36
（４）低所得者対策の推進 38

（３）医療と介護の連携強化

■現状

▶目標達成に向けた主な取組

事業名		単位	令和６年度	令和７年度	令和８年度（見込）
医療機関情報の更新		更新回数（回）	1	1	1
多職種による会議（審議会）		開催回数（回）	1	1	1
多職種による会議（専門部会）		開催回数（回）	6	6	6
医療介護コーディネーター相談対応		相談対応件数（件）	45	26	100
課題別研修	入退院支援	開催回数（回）	7	7	7
	在宅ケア多職種連携				
	歯科口腔ケア				
	服薬管理				
	リハビリテーション				
市民フォーラム		開催回数（回）	1	1	1
		参加人数（人）	62	68	100
地域出張型在宅医療介護セミナー		開催回数（回）	7	7	12
		参加人数（人）	226	201	200
人生会議メモ		配布数（部）	200	1,800	2,000
在宅医療介護コーディネーター広域会議		会議回数（件）	2	2	2

▶活動指標の進捗状況

			令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
在宅医療介護コーディネーターの相談対応件数	相談件数	目標		80 件	90 件	100 件
		実績	36 件	45 件	26 件	
地域出張型在宅医療介護セミナー受講者数	受講者数	目標	1,594 人	1,150 人	1,250 人	1,350 人
		実績	1,068 人	1,294 人	1,495 人	
多職種による会議・研修（審議会・専門部会・研修）の開催数	開催回数	目標	20 回	13 回	14 回	15 回
		実績	17 回	14 回	14 回	

○専門職を対象とした在宅医療介護コーディネーターの相談件数について、本市における医療と介護の連携が進み、専門職の対応力が向上したことや地域包括支援センターにおけるネットワーク構築が増加したことから、相談件数が減少しています。

○令和７年度からは在宅医療介護コーディネーターの一員に地域包括支援センターの専門職が加わっており、引き続き地域包括支援センターと在宅医療介護コーディネーターとの連携強化を図っています。

○「地域出張型在宅医療介護セミナー」については、新規団体からのセミナー申込もあり参加者数が増加しています。

▶評価指標と実績、アンケート等の結果　　○調査結果Ｐ20-21 参照

		実績（第８期）	目標（第９期）	実績（第９期）
医療や介護について相談できる機関が「ない」と答える人の減少・維持【アンケート】	未認定者	29.9%	27.0%	27.6%
	要支援者	4.9%	2.0%	7.7%
	要介護者	4.4%	2.0%	3.2%
医療関係者と連携ができているケアマネジャーの増加【アンケート】	病院	66.9%	70.0%	63.6%
	診療所	58.5%	60.0%	51.1%
	歯科診療所	37.3%	40.0%	50.0%
	調剤薬局	47.5%	50.0%	51.1%
	訪問看護ステーション	88.1%	90.0%	89.8%

○医療や介護について相談できる機関が「ない」と答えた人は、未認定者で 27.6%、要支援者で 7.7%、要介護者で 3.2%となっており、未認定者、要介護者においては目標に届いていないものの減少傾向にあります。実際に相談している機関として、未認定者は「病院・診療所」、要支援者・要介護者は「介護関係の事業所（ケアマネ施設相談員等）」が最も多くなっています。

○ケアマネジャーが連携できている医療関係者は、「歯科診療所」「調剤薬局」は目標を達成しており、そのほかの機関においても半数以上が連携できている状況です。

○ケアマネジャーの「在宅医療介護相談支援センター」の認知状況は、「相談窓口は知っているが、支援内容は知らない」が 29.5%で最も多く、次いで「実施している内容（支援）、相談窓口ともに知っている」となっていますが、「まったく知らない」は 22.7%となっています。

○人生会議の実施状況は、介護状態にかかわらず「話し合ったことはないが、これから話し合いたい」という意向を持つ市民が最も多くなっています。

○人生会議を書き留めるツールの使用状況は、和泉市が発行しているツール・和泉市以外のツールともに「知らない」が最も多く、「使用している」は数パーセントにとどまっています。

○在宅医療機関、訪問看護ステーション、在宅医療対応可能薬局の一覧表を作成し、関係機関に配布するとともに、毎年度情報を更新しています。

○和泉市版人生会議メモを作成し、普及啓発を図ることで本人の選択と本人・家族の心構えの意識醸成を行っています。

○和泉市医療と介護の連携推進審議会及び下部組織の専門部会において、課題の把握や情報の共有を図っています。また、「在宅医療に必要な連携を担う拠点」との連携を図り、医療と介護の連携が特に重要となる４つの場面「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」について取り組みを行っています。

■分析

〇各種会議や課題別研修の継続により、歯科・調剤等の連携が目標を達成しており、在宅療養を支える専門機関の顔のみえる関係は着実に高まっています。

〇医療・介護に関わる情報の周知に取り組んでいますが、十分に行き届いていない状況です。

〇人生会議を実施している人は２～３割ほどみられ、これから話し合いたい人も４～６割と高く、意思決定支援の意識は浸透しつつあります。

■次期計画に向けての方向性

〇医療・介護に関する情報を専門職、市民へ適切に周知する必要があります。

〇今後も人生会議の各種ツールの普及・啓発を継続するとともに、活用を通じて、話し合いを実際に書き留め、共有するという実践的な行動を支援する必要があります。

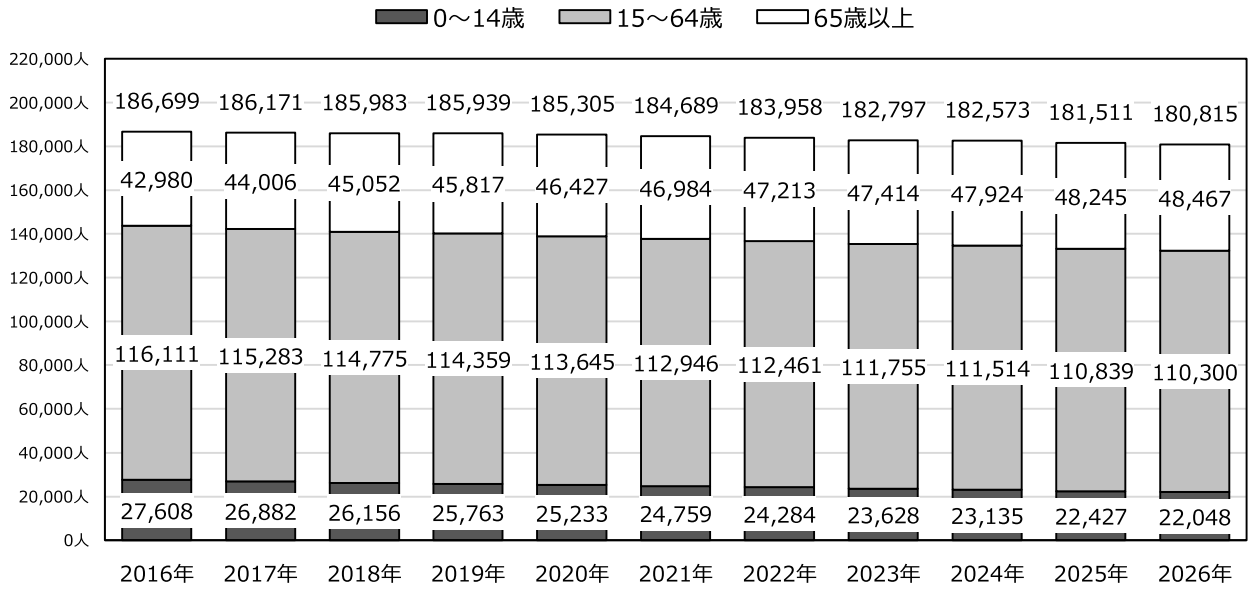
資料６

和泉市の現状と将来推計

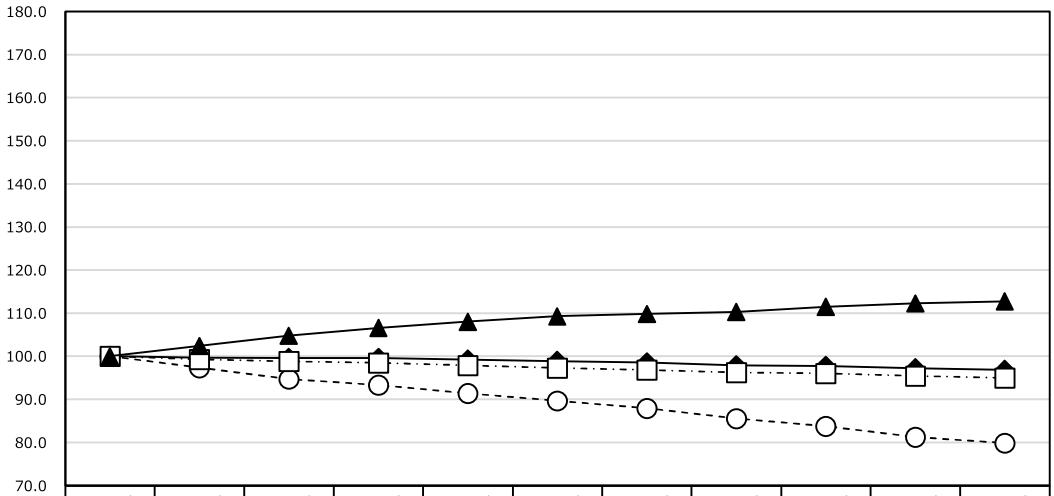
１．人口

○総人口は年々減少。2026 年で 180,815 人。65 歳以上の高齢者人口は年々増加。
○2016 年を 100.0 とした人口指数をみると、65 歳以上高齢者は 2026 年で 112.8 と、この 10 年で 1.1 倍程度増加。

年齢３区分別人口の推移



2016 年を 100.0 とした年齢３区分別人口指数

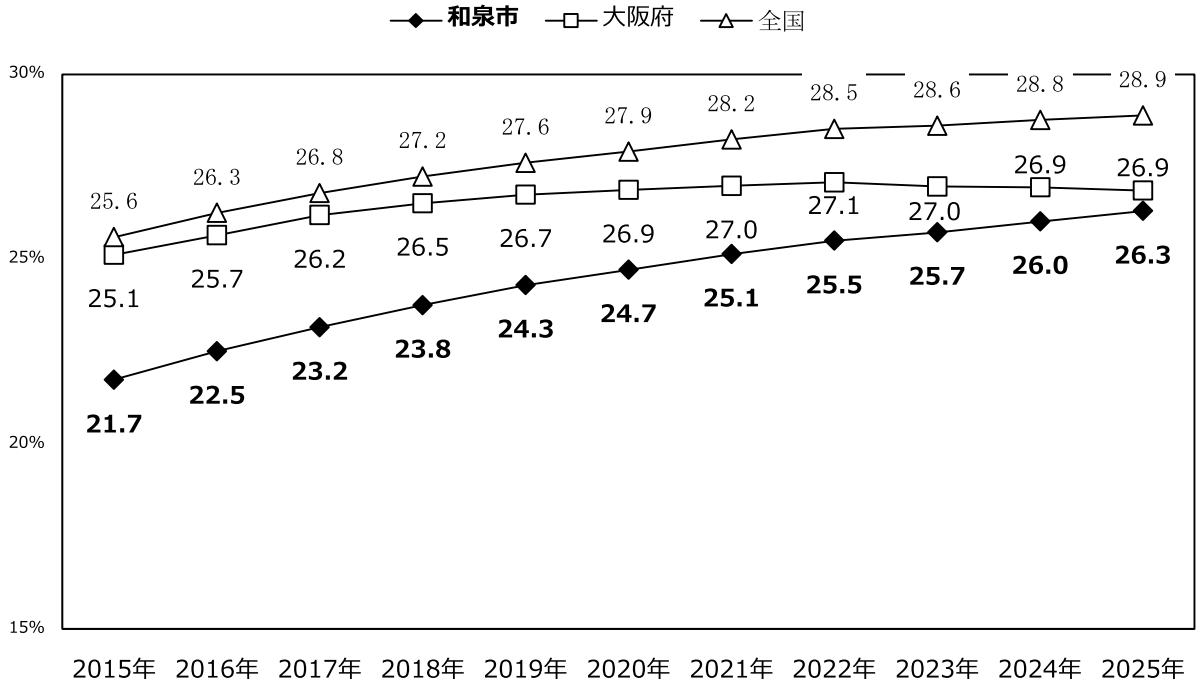


	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
総人口	100.0	99.7	99.6	99.6	99.3	98.9	98.5	97.9	97.8	97.2	96.8
0～14歳	100.0	97.4	94.7	93.3	91.4	89.7	88.0	85.6	83.8	81.2	79.9
15～64歳	100.0	99.3	98.8	98.5	97.9	97.3	96.9	96.2	96.0	95.5	95.0
65歳以上	100.0	102.4	104.8	106.6	108.0	109.3	109.8	110.3	111.5	112.2	112.8

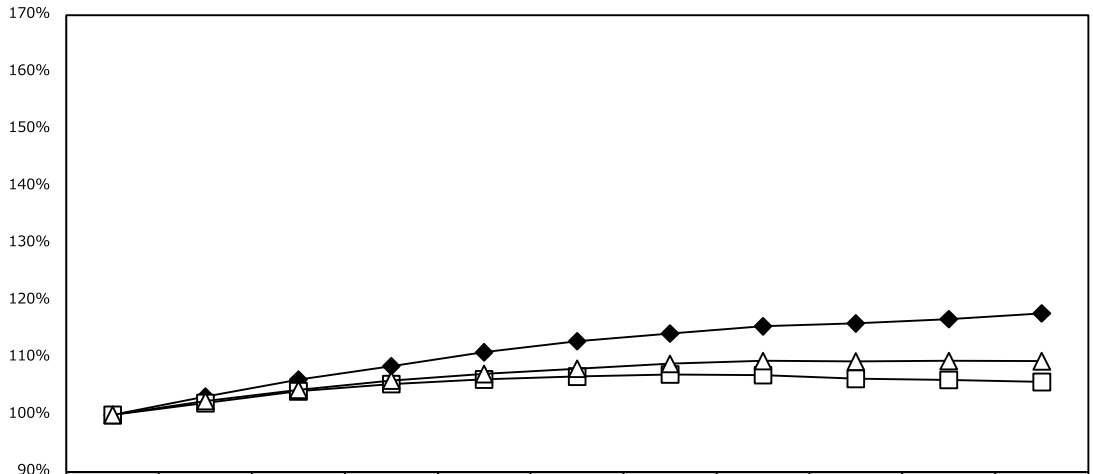
資料：住民基本台帳（各年９月末現在、2026 年のみ４月末現在）

○高齢化率は全国・大阪府より低いが、差は年々縮まっている。
○2015 年を 100.0 とした高齢者人口指数は全国・大阪府より高い。

高齢化率の推移【全国・大阪府との比較】



2015 年を 100.0 とした高齢者人口指数



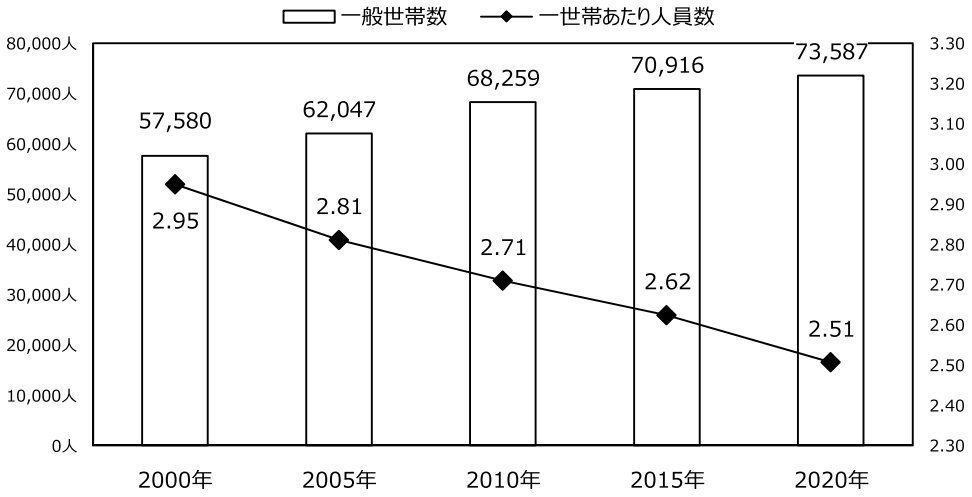
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
和泉市	100.0	103.2	106.2	108.5	111.0	112.9	114.3	115.5	116.0	116.8	117.8
大阪府	100.0	102.1	104.2	105.4	106.2	106.7	107.1	107.0	106.3	106.1	105.7
全国	100.0	102.4	104.4	106.0	107.2	108.1	109.0	109.5	109.3	109.4	109.4

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（各年１月１日現在）

２．世帯

○一般世帯数は年々増加しており、2020 年で 73,587 世帯。
○高齢者のいる世帯は 2020 年で 29,593 世帯と全体の 40.2%を占め、全国よりは低いものの大阪府よりは多い。高齢者単身世帯・高齢者夫婦のみ世帯は年々増加。

一般世帯数と一世帯あたり人員数の推移



高齢者のいる世帯の推移

		2000 年	2005 年	2010 年	2015 年	2020 年
一般世帯数	世帯数	57,580	62,047	68,259	70,916	73,587
	構成比	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高齢者のいる世帯	世帯数	15,038	18,961	23,037	27,486	29,593
	構成比	26.1	30.6	33.7	38.8	40.2
うち高齢者単身世帯	世帯数	2,770	4,217	5,565	7,084	8,215
	構成比	4.8	6.8	8.2	10.0	11.2
うち高齢者夫婦のみ世帯	世帯数	3,567	5,048	6,851	8,605	9,646
	構成比	6.2	8.1	10.0	12.1	13.1
その他一般世帯	世帯数	42,542	43,086	45,222	43,430	43,994
	構成比	73.9	69.4	66.3	61.2	59.8
大阪府高齢者のいる世帯	構成比	27.2	31.8	35.2	39.1	38.0
全国高齢者のいる世帯	構成比	32.2	35.1	37.3	40.7	40.7

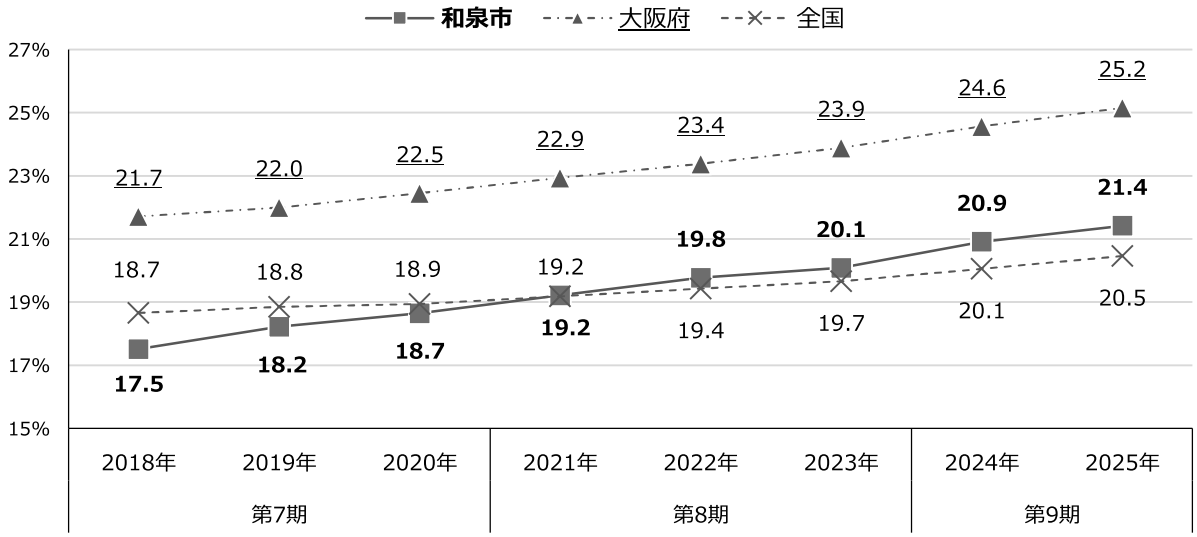
資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

※国勢調査における一般世帯とは、以下の世帯を指します。
① 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者（ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含む。）
② 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
③ 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

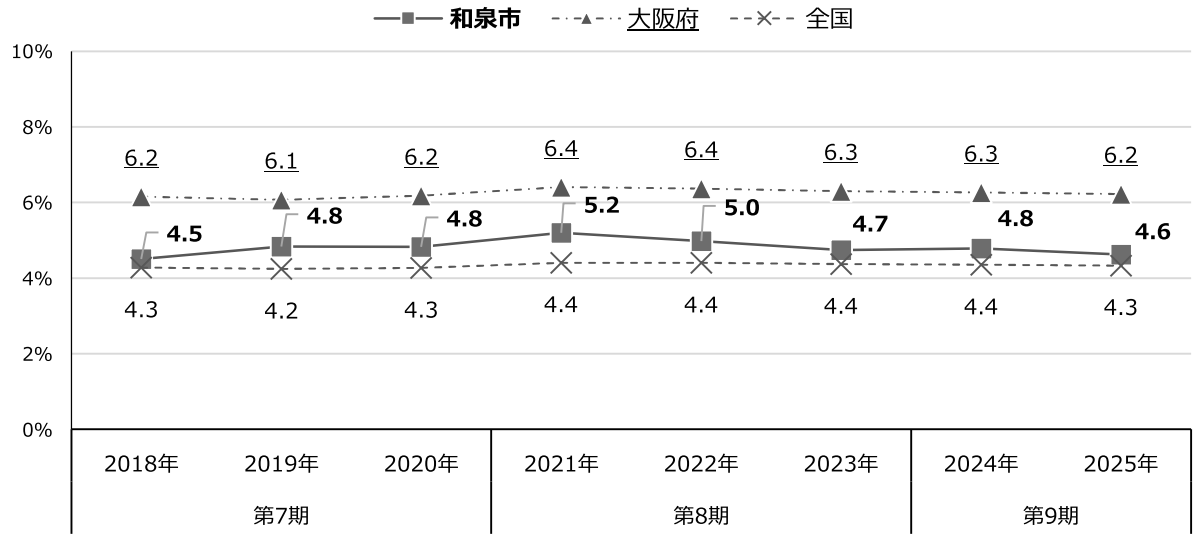
※上記における「高齢者夫婦のみ世帯」は、夫 65 歳以上妻 60 歳以上の夫婦を指します。

○要支援・要介護認定率は年々増加しており、2025 年で 21.4%。
○要支援･要介護認定率は 2020 年まで全国･大阪府より低かったが､2021 年で全国と同じ 19.2%、2022 年以降は全国を上回る。
○前期高齢者の要支援・要介護認定率は、全国より高く、大阪府より低い。

要支援・要介護認定率の推移（第２号を含む）



前期高齢者の要支援・要介護認定率の推移

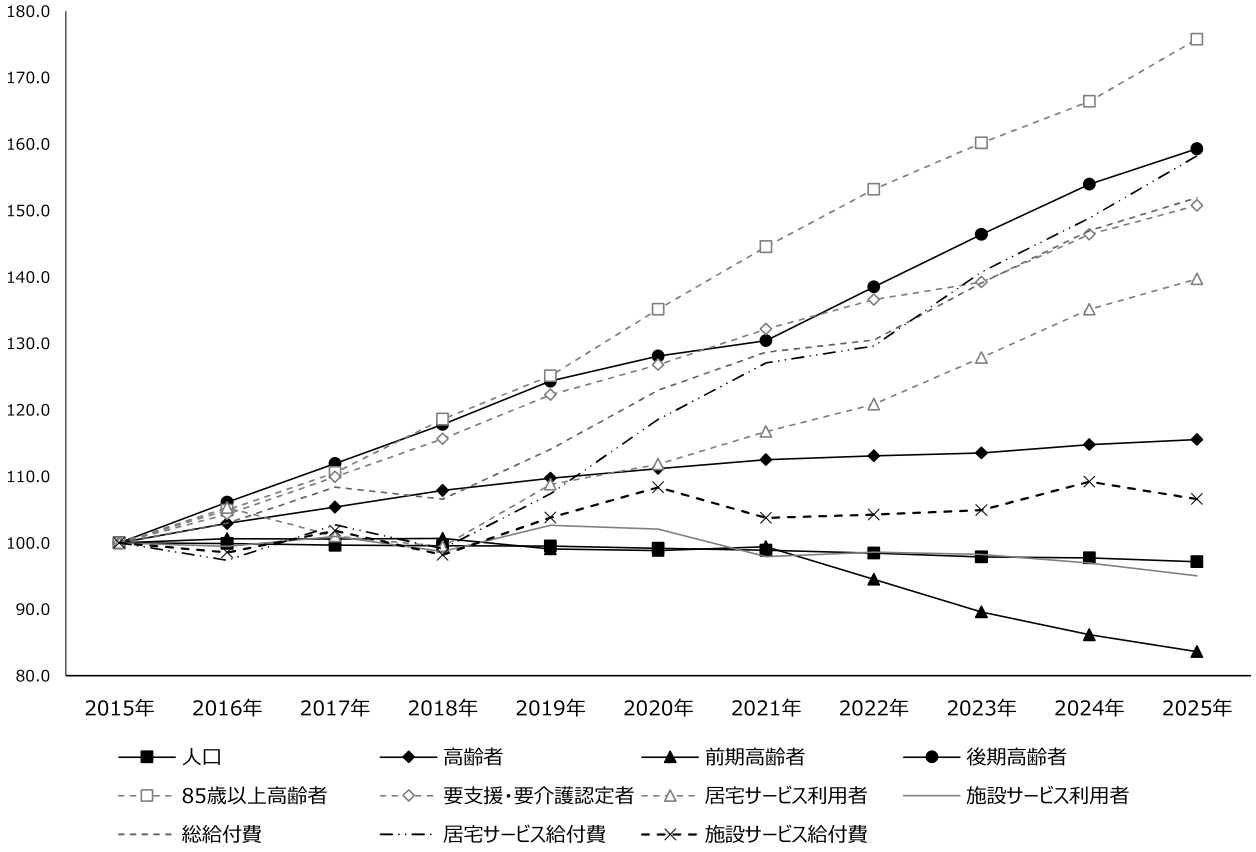


資料：介護保険状況報告（各年９月月報）

【参考】人口、認定者、サービス利用等の一覧

○人口が減少する中、高齢者はこの 10 年で約 1.2 倍に増加し、特に 85 歳以上高齢者が急増（約 1.8 倍）。
○要支援・要介護認定者も約 1.5 倍増加している。
○居宅サービス利用者は約 1.4 倍に増加しているが、居宅サービス給付費は約 1.6 倍。
○後期高齢者の増加に合わせ要支援・要介護認定者や居宅サービス、給付費等も同様に増加。

2015 年を 100.0 とした各指数（和泉市の 10 年）

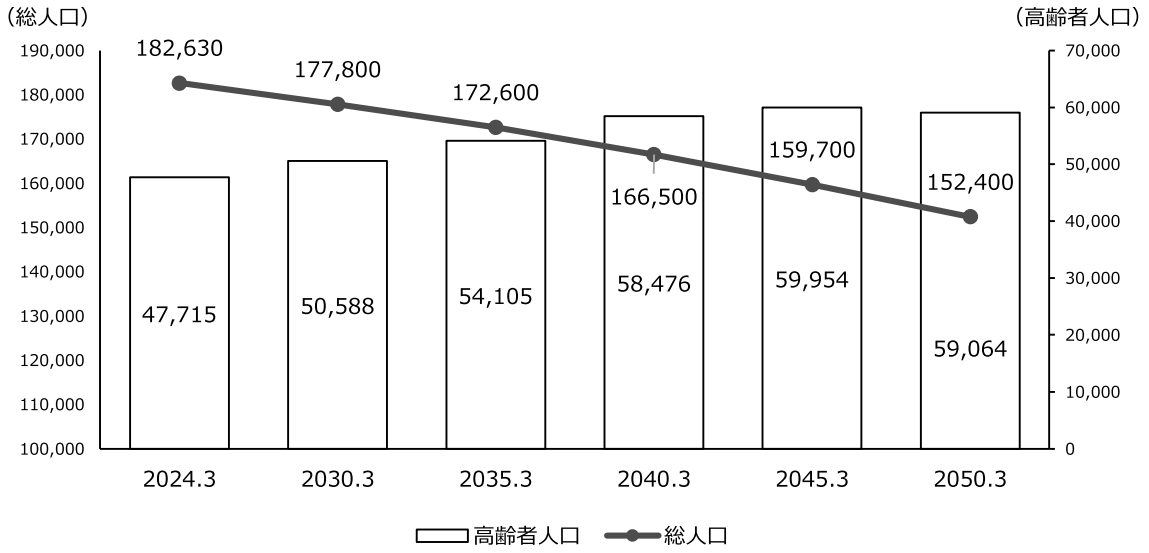


	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
人口	100.0	99.9	99.6	99.5	99.5	99.2	98.8	98.5	97.8	97.7	97.1
高齢者	100.0	102.9	105.4	107.9	109.7	111.2	112.5	113.0	113.5	114.7	115.5
前期高齢者	100.0	100.6	100.6	100.7	99.1	98.8	99.4	94.5	89.6	86.2	83.6
後期高齢者	100.0	106.1	111.9	117.8	124.3	128.1	130.4	138.5	146.4	154.0	159.3
85 歳以上高齢者	100.0	104.9	110.6	118.6	125.1	135.1	144.5	153.2	160.2	166.4	175.8
要支援･要介護認定者	100.0	104.3	109.9	115.6	122.3	126.8	132.2	136.6	139.2	146.4	150.8
居宅サービス利用者	100.0	105.3	101.0	99.4	108.8	111.8	116.7	120.9	127.9	135.1	139.7
施設サービス利用者	100.0	99.5	101.0	98.7	102.6	102.1	97.9	98.6	98.3	97.0	95.0
総給付費	100.0	102.9	108.4	106.6	114.1	123.0	128.7	130.5	139.1	147.0	151.9
居宅サービス給付費	100.0	97.4	102.7	99.1	107.4	118.6	127.1	129.6	140.8	148.9	158.2
施設サービス給付費	100.0	98.6	101.8	98.2	103.8	108.3	103.7	104.2	104.9	109.2	106.6

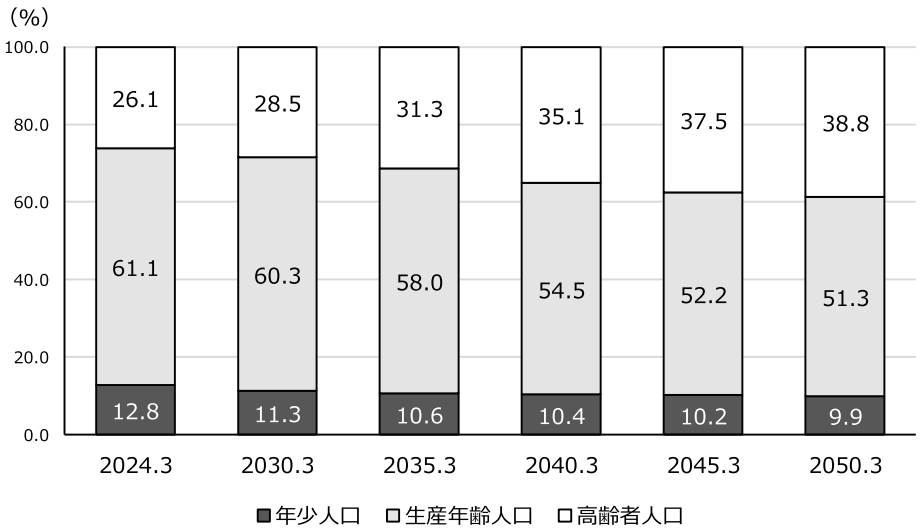
４．人口推計（和泉市人口ビジョンより）

○本市の総人口は今後も減少すると見込まれ、2050 年で 152,400 人になると推計される。
○高齢者人口は 2045 年まで増加し、その後減少に転じる。
○年齢３区分別人口割合をみると、高齢者人口割合（高齢化率）は今後も上昇すると見込まれ、2050 年で 38.8%。一方、年少人口・生産年齢人口は減少する見込み。

総人口及び高齢者人口の将来推計



年齢３区分別人口割合の将来推計



資料：和泉市人口ビジョン（令和６年度版）

第 10 期計画で用いる人口推計は現在検討中であり、今後数字が変わる場合があります。